

MR吉井駅周辺奉仕作業

今年はコロナの影響で多くの事業が中止されるなか、11月17日(火)に毎年花国事業の一環として、佐世保市法人会11支部、商工会青年部・女性部他、多くの方の参加で「MR吉井駅」から「まつばや」までの間を除草、剪定の奉仕作業が実施されました。キレイになった駅を利用していただけです。お忙し中参加された皆さんお疲れ様でした。

尚、お知らせですが吉井駅のトイレが廃止されることに決まっているようです。



で皆にすしさをなさなりました。お疲れ様でした。綺麗



善意の灯

吉井地区自治協議会の活動に役立てて下さいと香典返しを自治協議会に寄付していただきました。大変有難く感謝申し上げます。

金子富久枝さま、亡夫金子實豪様の香典返しとして

中尾 静さま(自治協議会会長)、亡母中尾初枝様の香典返しとして

ご寄付いただき有難うございます。善意のお気持ちに出来るべく吉井地区自治協議会の今後の活動に役立たせていただきます。

新型コロナウイルス感染予防をしっかりと！！



吉井地区自治協議会では、コロナ禍の新しい生活様式に対応するために、非接触型体温計、サーモグラフィカメラ、消毒液などを準備し会議等に活用しています。



・地域コミュニティとは！

地域をより良くするために活動する、住民同士のつながりや集まりの事です。

あなたが主役の地域コミュニティ！！

令和2年度第3号(通算36号)

令和3年1月1日発行

自治協議会だより



よしい

〒859-6326
吉井地区自治協議会
佐世保市吉井町立石473(吉井地区公民館内)
TEL(0956)55-6038 FAX(0956)55-8550
Email y.jichikyo11@tvs12.jp

令和3年1月吉日



新年のご挨拶

吉井地区自治協議会
会長 中尾 静

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は、新型コロナウイルス感染症拡大で、皆様、各地区いろいろな面において大変不自由なされたことと思います。

吉井地区自治協議会といたしましても、主催事業である吉井地区運動会、文化祭、駅伝大会等すべて中止になりました。残念でなりません。ただその中で、市政懇談会だけは、規模を縮小して開催されました。早く新型コロナウイルス感染症が、無くならないかと祈るばかりです。

さて、今年は4月に吉井地区複合施設の中に福井洞窟ガイダンスが開館します。全てにおいて吉井地区複合施設が完成します。5月の連休前後には落成式が行われると思います。是非とも皆さまに足を運んで頂いて、新しい吉井地区の歴史を作っていたきたいと思います。

昨年行われた全国中学生陸上競技大会100m走で、吉井中学校の中川穂泉君が全国9位の成績で頑張ってくれました。また、11月23日に行われた全国春高バレーボール長崎県予選で聖和女子学院が優勝し、吉井出身の田口穂莉選手、吉田楓華選手が全国春高バレーボール大会に出場します。皆さんの応援を宜しくお願いいたします。

昨年は、暗い世情にもかかわらず、スポーツ面で明るいニュースもありました。また令和4年には樋口橋、前岳橋、春明橋が架橋100周年を迎えます。吉井町民こそってお祝いしたいものだと思います。新型コロナウイルス感染症ばかりで年を過ぎましたが、コロナに負けずに元気な吉井地区でありたいものです。

吉井地区自治協議会といたしましても主催事業をはじめ、いろいろな事案にも積極的に取り組んでいきたいと思っておりますので、皆様のよりいっそうのご協力をお願い致します。

最後になりましたが、新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ等に十分注意して頂き元気にお過ごしくださいようお祈りいたします。



・自治協議会とは！

地域のことは地域で考え、地域で取り組み、住民が自治をする会です。

市政懇談会 「おじゃまして〜す！市長です。」

令和2年度の市政懇談会が11月13日（金）午後2時から吉井地区公民館講堂にて開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から「開催時間の短縮」、「3密を最大限避ける会場設定」など新しい生活様式を実践する形式で、参加人数の調整もおこないながらの開催となりました。



今回の課題

1、地域各種イベント助成金の存続について まちづくり部会長 山中 博明

地域各種イベントの継続のため「まちづくり特別交付金」、その後10年を経過し「地域力アップ助成金」と市からは各種イベントに助成していただきましたが、昨年地域政策課よりゼロベースの可能性もひめて減額するとの提案があり、その理由として佐世保市全域のバランスが取れないとのことでした。

今回提案いただきました「1/3自主財源の確保」という意見は非常に厳しいものであり、安定した助成金の確立をお示しいたきますようお願いいたします。



課題発表 山中博明さん

市の答弁

企画部 中島部長

- 合併後10数年が経過し、新市一本化も進捗したと判断し現行制度は終了します。
- ただし住民の絆づくりなどに寄与する地域イベント等を継続させるため、新たな支援制度について検討します。
- 担い手不足などの課題も地域と行政が一体となり解決に努めていくことが必要だと考えます。

2、吉井支所跡地に公衆トイレの設置要望について 総務部会長 内川 隆晴

吉井支所移転後の公衆トイレの設置については、平成30年度の市政懇談会で要望していましたが、新しく出来る複合施設に24時間対応のトイレを設置することで、公衆トイレの代替とし別に新しく公衆トイレの設置は考えていないとの回答だったと思います。しかしながら、支所前のバス停はバス路線の江迎方面、松浦方面、世知原方面、市内への要であり、バス利用者も含め近隣住民からもトイレ設置を要望されています。このような中、吉井町には公衆トイレが2箇所設置されています。五蔵の里と忠霊碑広場前の2箇所となっており、忠霊碑広場前のトイレは日頃からほとんど利用が無く、4月に行われる戦没者追悼式と花見の時期に利用されるのが現状です。そこで、このトイレを廃止し、支所跡地に公衆トイレを移設するという方法を提案します。公衆トイレの必要性を十分考慮いただき、支所跡地の一画に公衆トイレの設置を再度強く要望します。

30年度の答弁で「全市的な公平性の観点からも支所跡地への公衆便所の設置は難しいものと考えます」とお答えをいただきましたが、公平性に欠けることの根拠を具体的に示してください。

環境部 木村部長

- 忠霊碑広場前のトイレについては、老朽化が著しいことや利用頻度も少ないことから、地元の皆様のご理解を得た上で解体に向けての準備を進めていきたいと思っております。
- 旧支所用地への公衆便所設置については、すでに複合施設にトイレが設置されていることを考えても、難しいものと言わざるを得ません。なにとぞご理解を賜りたいと思っております。

市民生活部 中西部長

- 佐世保市（合併前）の旧市では、公衆トイレだけの機能を新設するという考え方をとっておらず、公共施設と一体的に整備が行われています。これまで公衆トイレだけの機能を目的にトイレを新設した事案がなかったことから、そのことと比較して「全市的な公平性の観点」という説明を行いました。

再質問

総務部会長 内川隆晴

都市計画マスタープランの見直しがあったなかで、地域の特性のなかに中心市街地への交通結節点となると明記してあります。交通結節点とは都市の顔であり交通の要であることから基本的な導入施設にトイレと書いてあります。吉井バス停も交通の要であり交通結節点であることから、基本的にトイレの設置はできるものと思いますがどうですか。

交通の要にはトイレが必要だと思いますので、跡地利用を考えていくなかでトイレの設置を前提として進めてほしい。



課題発表 内川隆晴さん

市の答弁

市民生活部 中西部長

旧跡地ということでお答えします。現在解体工事の設計を作成しているところであり、敷地が特殊な地形であり、解体工事と造成工事をあわせて安全性を確保し、どのような形で残すのがいいかということ今年度末には決定する予定です。都市計画マスタープランや交通結節点などをあわせて考慮し、公衆トイレだけの考え方がないので他の機能を合わせ持ったものがないか、一度お話しを持ちたいと思います。



市政懇談会の様子



地域が抱えている課題について、直接情報交換ができる貴重な場になりました。



朝長市長

市長統括 朝長市長

熱心なご意見等、ありがとうございました。

イベントに関しては全市的な課題であり、どのような形でイベントを残していくかは、地域づくりや町づくりにおいて重要な課題と認識しています。

しかしながら、全部残すということは担い手の問題もあり難しいこともあるのではないかと、地域の中で選択をしていく必要もあるのではないかと考えており、自治協の中で合意形成を図っていただきたい。

市の補助金ガイドラインもあり、市全体の財政面を考えるとやむを得ない部分もあるため、知恵を出していく必要がある。

そこで本日ご紹介した自治体新電力を自治協が主体となって取りまとめて頂ければ、一定の支援金が頂ける可能性があります。それを自治協に持って頂けないかと思っています。

公衆トイレと跡地活用の話がありました。交通結節点については理解します。また、吉井の方だけではなく、世知原地区や江迎地区の方々等にも考慮しなければいけないと思います。なお、複合施設に新しくトイレを設置しましたのでご利用いただければと思います。

また、現在の合併浄化槽がそのまま使えるということもお聞きしましたので、そういうことを含め今後検討したい。